

令和元年度 ひいらぎこども園 事業報告書

1 成果と課題

前年度末に、行事について「子ども主体の日々の保育を大切にした行事のあり方」について職員間で十分話し合いを行い、年間計画を立てたため、子どもたちにとって無理がなく、友達と一緒に充実感を味わえる1年間となりました。保護者の中にも、「子ども主体の保育」の重要性を理解してくださる方が増えてきたことが、「友達と相談したことを家でも話してみんなで作り上げていくことを楽しんでいた」「子どものうまくなりたいたいという意欲が高まった」「子どもの思いや考えを大切にしていけないと感じた」「全員が同じ題材でなく、素材も違い、好きに描ける環境がよい」「子どもの顔が達成感でいっぱいだった」「子どもたちにとって楽しいことを優先されており、よいことだと思う」といったアンケートの記述からも読み取れます。ただ、まだまだ「行事が年々シンプルになっているようでさびしい」「運動会ではセレモニーや団体競技をしてほしい」「見ごたえに欠ける」といった意見もあり、今後も「自分で選び、自分で考え、自ら行動する過程が成長につながることを丁寧な保護者に伝えていきたい」と思います。

園内研修を充実させ、特に2月には全クラスが公開保育を行ったことによって、毎月の保育目標を明確にし、それにそって環境を整備することの大切さを学びました。物的環境の整備と共に、保育者の支援についても研究を重ね、保育者も一緒に発見や感動を味わえる日々を作っていきたいとします。



小学校との連携については、さらに一歩進むことができ、3学期には神明小学校の教務の先生に出前授業をして頂くことができた上に教頭先生にも発表会を参観して頂くことができました。ただ、令和2年度に関して小学校の年間計画に連携活動を位置付けて頂く予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中断してしまったことが残念でした。

造形活動に関して、0歳児からの感触遊びや色遊びを積み重ねてきたことに加えて、心と体と頭をいっぱいに使って友達と一緒に楽しんだ様々な感動体験が表現意欲を高め



る原動力となり個性豊かな作品が多く生まれました。そして多くのコンクールで認められました。また、今年度の神明小学校の絵画や作文などの表現活動による受賞者の38%が本園の卒園児でした。幼児期に身につけた表現することの楽しさが学童期でも発揮されていることを大変嬉しく思います。

調理室の職員が大きく入れかわり、初任者が多い上に、4月当初は人数も不足しており、有休を取る余裕もなかったのですが、新しいメンバーでそれぞれの得意分野を発揮し、仕事の分担を行うと共に、徐々にチームワークができ、また、11月からパート栄養

士が加わったこともあって、食育の質の向上が見られました。

課題としては、職員の定着があげられます。年度途中で若手職員3名が退職をし、常に保育教諭の募集をかけていましたが応募者がなく、保育者不足のために0歳児クラスの園児を24名までしか受け入れることができませんでした。



年度途中の1号認定を13名まで増やしましたが、0歳児6名減により、事業活動収入が前年度より約200万円減少してしまいました。さらに、保育者数に余裕がなくなってしまったために、有休がとりにくい状況が続いてしまいました。

若手職員育成のために、次年度は3月の1か月間、新卒者をアルバイトとして雇用し、時間をかけて育成したいと考えます。また、初任者及び指導者の声を聴きとるために、個別面談やグループ面談を早い時期から行い、課題をみんなで共有して解決していきたいと思います。

2 施設運営方針の実施状況

- (1) 人材定着に向けた取組を強化する⇒△（年度途中退職者を含め正規職員5名の退職があったため）
- (2) 「子どもの主体性を大切にする保育」の研究を深める⇒◎
- (3) 保護者支援の力量を高め、児童虐待の予防・啓発に努める⇒○
- (4) 保育教諭・栄養教諭・看護師の専門性を高め、仕事に自信とほこりを持つように、キャリアアップ研修受講及び海外研修や全国大会への参加をバックアップする⇒◎
- (5) 国のガイドラインに沿った事故防止・健康安全対策及び災害対策を強化し、子どもの命を守るためにより安心安全な環境作りに全職員で取り組む⇒△（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年度末の事故検証委員会が開催できなかったため）
- (6) 他機関や小学校との連携をさらに深め、子どもの発達を多方面から支援する⇒◎
- (7) 栄養教諭を中心に、子どもの主体性を尊重した食育計画を進め、食育のさらなる充実を図る⇒◎

3 年間教育・保育日数

- 1号認定 236日（年長児は232日）
 2・3号認定 284日（年長児は285日）

4 利用者

(1) ひいらぎこども園（本園）在園児数

歳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	標準	18	21	21	23	23	23	23	23	23	23	23	23
	短時間	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

1歳	標準	42	41	41	42	42	42	42	40	40	39	39	39
	短時間	0	1	1	0	0	0	0	2	2	3	3	3
2歳	標準	35	35	35	35	35	35	33	33	33	34	34	35
	短時間	7	7	7	7	7	7	6	6	6	3	5	5
満3	1号	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	2
3歳	1号	4	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6
	標準	44	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42
	短時間	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
4歳	1号	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
	標準	43	43	43	42	42	42	43	42	41	42	42	42
	短時間	2	2	2	3	3	3	3	4	5	4	4	4
5歳	1号	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	標準	44	44	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
	短時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		247	248	248	250	250	250	250	250	250	250	250	250

(2) 一時預かり事業利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数 (人)	71	65	80	79	84	76	89	89	108	88	80	85
保育日数 (日)	20	19	20	22	18	17	21	19	19	19	17	19
1日平均 (人)	3	3	4	3	4	4	4	4	5	4	4	4
合計	1, 270人 (1日平均3.8人)											

(3) 子育てサポート事業利用者数

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験保育		1				1	2	3	1		
リトミック		5	6		3		8		4		中止
運動あそび						9					

一時預かり	2	2	2	2	2	8	8	2	5	2	
園庭開放	4	2	0	0	4	2	3	3	0	0	0
計	6	10	8	2	9	20	21	8	10	2	0
総計	96人										

- ①体験保育 年6回・・・子どもの年齢のクラスに入り、こども園の生活を親子で体験してもらっている。子育て相談では、同じ歳の子どもとの関わりや、その年齢の遊びや活動がよくわかると毎回好評である。
- ②リトミック 年5回・・・親子で一緒に音楽に合わせて体を動かして、ふれあい遊びを楽しみ、スキンシップをする機会を増やし、保護者のリフレッシュになっている。ママ友サークルもできてきている。
- ③運動あそび 年1回・・・年齢に応じた体の使い方や遊びを知り、親子で元気に体を動かしてもらっている。参加者は、ここで体験した運動あそびを家庭でも続けてくれている。
- ④一時預かり 年20回・・・未入園児の預かり保育を20回行った。保育者や友だちと関わり、遊びの幅が広がっており、保護者にも、喜ばれている。
- ⑤園庭開放 毎週月曜日 こども園のおひさま広場、あおぞら広場、どろんこ広場で親子で遊んでもらう。その中で、子育て相談を行った。発達についての相談が多かった。

5 職種別職員数（令和2年3月31日現在）ひいらぎこども園

職 種	園 長	副園長	主幹保育教諭	指導保育教諭	保育教諭	S W	保育補助	看護師	栄養士	調理員	警備員	事務員	用務員	ボランティア	合計
正規職員	1	1	1	1	32	0	0	1	2	1	0	1	0	0	41
パート職員	0	0	0	0	15	1	2	0	0	3	2	1	1	1	26
合 計	1	1	1	1	47	1	2	1	2	4	2	2	1	1	67

（正規保育教諭の内2名は育児休暇）

6 年間行事実施内容（資料 ひ1）

7 小学校との接続

（1）入学式参列

4月9日 神明小学校（園長）

(2) 1年生の参観・連絡会

- 5月23日 伊勢田小学校参観
- 5月24日 神明小学校参観・連絡会
- 5月29日 大開小学校参観・連絡会
- 5月31日 大久保小学校参観・連絡会
- 5月30日 大開小学校参観・連絡会
- 6月6日 小倉・南小倉小学校参観・連絡会
- 6月20日 菟道第二小学校参観・連絡会

(3) 接続カリキュラムについての研修及び討議

- 6月6日 山城地方「育ちと学びをつなぐ」連携会議 実践発表
- 11月1日 宇治市保育所(園)・認定こども園・幼稚園・小学校合同研修講座
(ひいらぎこども園実践発表)

(4) 行事交流

①運動会参観

- 9月28日(土) 小学校の運動会を見学する。(旧年長担任、加配等数名参加)
(神明、小倉、大久保、伊勢田、菟道第二、大開、南小倉)

②第10回神明学区文化祭参加

10月6日(土) 神明小学校の体育館で開催された第10回神明学区文化祭に子どもたちが作った作品を出品した。琵琶湖博物館に遠足に行って魚に興味を持った子どもたちが作った大きな魚2匹とペットボトルで作った魚を展示した。卒園児を含めた1年生の子どもたちの作品も展示されており、保護者や子どもも参加することができた。



③作品展招待

11月上旬に開催される作品展に向けて、園児が作成した招待状を神明小学校に届けた。日ごろのこども園での造形活動を理解してもらうことが一人一人の園児の理解につながると考え一人でも多くの参加を期待した。招待状は、子どもたちが心を込めて作り、かわいい言葉も添えられていた。作品展開催中には、校長先生が参観してくださり、子どもに向けてコメントをいただいた。



④ひなまつり発表会招待

2月中旬に開催されたおひなまつり発表会にも、園児が

作成した招待状を小学校に持参した。招待状作りを子どもたちは楽しみ、「来てね。」
「がんばります。」とひらがなで書きこんでいた。学年末の忙しい時期にもかかわらず、
教頭先生が参加してくださった。



(5) 小学校訪問

11月21日(木)29日の交流に向けてこども園の保育者が事前に、神明小学校に赴き、交流のめあてや活動内容について共通理解するとともに、どのような活動にすればよいのか、支援の必要な園児への配慮の仕方等について話し合った。前年度に行った事前の打ち合わせが当日の交流において非常に役立ったこともあり、今年度も引き続き行った。回数を重ねることは、日程的にも難しい現状があるが、一回の交流をより充実したものにするためにも事前の打ち合わせは非常に意味があると感じた。事後の反省はその場では十分できなかったもので、整理して次回の交流時に共有することにした。

11月29日(金)午前9時55分から20分まで、年長児45名と教職員5名で神明小学校を訪問した。

(めあて)

園とは違う小学校の施設に触れるとともに、1年生の子どもたちと交流することで小学校生活に期待を持つ。

(活動内容)・体育館で1年生の児童とあいさつを交わし、先生のお話を聞く。

・1年生の児童と一緒に遊ぶ。「手つなぎおに」

(園児の様子)

1年生の児童が並んで待っているところを、恥ずかしそうに歩いて体育館に入っていく、少し緊張した面持ちで1年生のはじめの挨拶を聞いた。その後、1年の担任の先生からお話があり、交流が始まった。

「手つなぎおに」では、数名の1年生の鬼が次々と捕まえて、仲間をふやしていった。広い体育館を1年生の勢いに押されて、こけて泣いてしまう園児もいたが、1年生と手をつなぎ笑顔で走り回る姿をたくさん見ることができた。短い時間ではあったが、子ども達にとっては、貴重なふれあいのひとときとなった。園に帰ってから感想を聞くと、「手つなぎおにをしている時に、よくがんばったなあ。と1年生が声を掛けてくれた。」とか「一緒に手をつないで、逃げてくれた。」等、短い時間ではあったが、園児たちが1年生のやさしさを感じ取ってくれていることがわかりうれしく思った。1年生に「さようなら。」と手を振ってもらったあと、中庭のイチョウの葉っぱを拾って園に持ち帰った。



1年生のはじめのあいさつ



手つなぎおにスタート!



1年生と一緒に逃げる園児



卒園児が園児をリード



園児に手を振る1年生

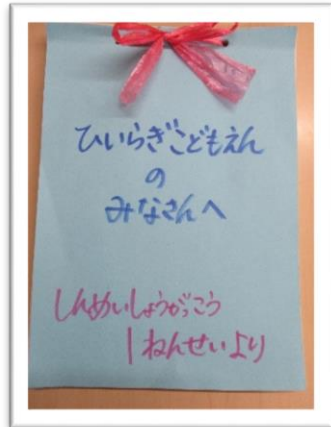


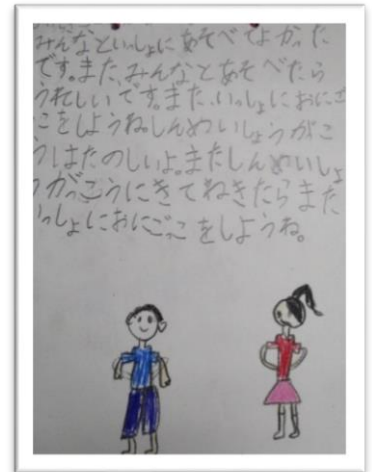
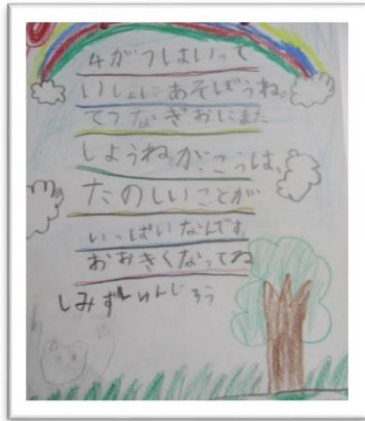
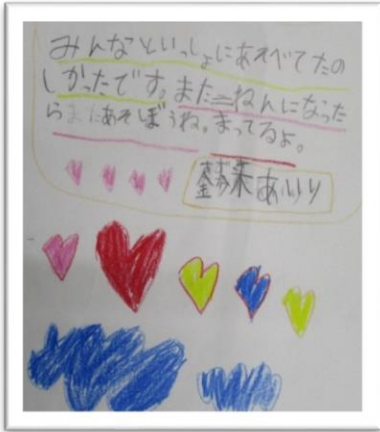
中庭のイチョウの葉っぱを拾う園児

(園に帰ってからの子ども達の声)

- ・おにいちゃん、おねえちゃんの発表がかっこよかった。
- ・「一緒に逃げよう。」「一緒に鬼になろう。」とおねえちゃんが声をかけてくれてうれしかった。
- ・知っているおにいちゃんやおねえちゃんがいてうれしかった。
- ・おねえちゃんが頭をなでてくれてうれしかった。
- ・手つなぎ鬼で勝ったら、隣のおにいちゃんが「よかったね。」と言ってくれてうれしかった。
- ・手つなぎ鬼、楽しかった。いっぱい走って楽しかった。
- ・負けて泣きそうになったけど、お兄ちゃんたちの前だからがまんした。
- ・小学校って大きいなと思った。
- ・小学生の人数が多かった。みんな背が高かった。小学校に行くのが楽しみになった。
- ・小学校に行って、知っている人がいたから、安心した。
- ・どんな先生になるかなと思った。

その後、1年生からのお手紙を神明小学校の担任の先生が届けてくださり、子どもたちに1枚1枚読んで聞かせた。一緒に遊んで楽しかったこと、4月に入学してくるのを楽しみにしていることや中には、手つなぎおにをしてこども園の子達が思ったより速いことに驚いたことや卒園児が久しぶりに会えてうれしかったことなどが書かれており、お手紙を通して子どもたちの思いを交流することができた。一つ一つの小さな取り組みを通して交流が深まってきたことをうれしく感じた。





(6) 神明小学校の先生による出前授業

1月28日(火)午前10時から、神明小学校の先生による出前授業が行われた。各校での半日入学が続く時期でもあり、子どもたちは小学校への期待とともに、不安も抱いているので、小学校の先生によるお話は子どもたちにとってとても興味深いものだった。

(めあて)

小学校での生活について話を聞くことや、学校の先生と関わる時間をもつことで小学校入学への期待をもつことができる。

(内容)

- ・ 小学校の生活について (遊びと勉強等)
- ・ 質問コーナー
- ・ 手遊び
- ・ 本の読み聞かせ「ねこのピート」
- ・ 先生からみんなへ一言



映像で学校の日を紹介

(園児の様子)

神明小学校教務の吉村祥代先生による出前授業が行われた。小学校の先生が来てくださることを心待ちにしていた子どもたちは、先生のお話を真剣に聞いていた。



絵本の読み聞かせ

はじめは、学校生活の一日ということで、集団登校してから教室に入るまでのことや、各教科の内容を動画や映像を通して説明していただいた。1年生の音楽発表の様子や5年生の美しい歌声を聞かせてもらったり、給食の様子を見せてもらったりした。

質問コーナーでは、「小学校は何階建てですか?」とか、「給食はいつもカレーですか?」とか、「プールはどのくらい深いですか?」などいろいろな声があがったが、一つ一つ丁寧に答えていただいた。

最後に先生から、「学校は楽しいことがあるし、お兄さんやお姉さんがいっぱいいるので、困ったことがあったらいつでも言ってくださいね。」と言われ子どもたちも笑顔で答えていた。

その後、楽しい手遊びをしてから、子どもたちにも人気の絵本「ねこのピート」を読み聞かせしてくださり、あっという間に出前授業は終了した。

出前授業については、事前に保護者にも連絡していたため、数名の保護者も参加してくださり、小学校に対しては、子どもだけでなく、保護者も興味が高いことを感じた。



真剣に話を聞く子どもたち



手遊び

(7) 入学児童についての配慮事項などの情報交換>

- 2月7日(金) 大開小学校
- 2月25日(火) 神明小学校
- 2月27日(木) 菟道第二小学校

(8) その他

- 神明小学校と園だより及び学校だよりの交流(月1回)
- 神明小学校校長が令和2年度入園式に出席、祝辞をいただく予定だったが新型コロナウイルスによる感染拡大のため、来賓の出席はなくなった。

8 研究発表・実践発表

- (1) 令和元年度全国保育士会研究大会（令和元年10月24日・25日 於松江市）
第1分科会「子どもの発達と環境（3歳未満児）」
テーマ「3歳未満児にふさわしい保育の環境
～指さしを通した応答性からの考察～」

京都府保育協会研究メンバーを代表して吉田真衣
保育教諭が発表。指導助言の社会福祉法人真生会理
事長 青木紀久代先生から「量的な検討後に保育実
践に生かされる具体的なヒントが充実した研究であ
る。」と高い評価をいただいた。



9 職員研修内容

(1) 園内研修

- ① 講演 令和元年5月16日（木）
「乳幼児の食事について
～新保育所保育指針を踏まえた
哺乳から幼児食まで～」



講師 伴 亜紀氏 (Graine 代表)
受講者 管理栄養士1名 保育教諭11名

- ② 研究保育 令和元年6月25日（火）
「水遊びを楽しもう」1歳児
保育者 丸田くるみ・崎谷玲奈
長野幸代
監視員 美藤里乃・吉田真衣
指導助言 木下光二氏
(鳴門教育大学大学院
教育研究科教授)



- ③ 運動あそび研修 令和元年7月8日（月）
「全身を使った仲間との
熱中した遊びを大切にする」
講師 杉島秀政氏
(安田式体育遊び研究所指導員)



- ④ 調理研修 令和元年7月9日（火）
「離乳食の調理手順・普通食の献立」
講師 佐井かよ子氏 (食育サロン「旬」)
受講者 岡田 泉 (管理栄養士)

- ⑤ 乳児保育・教育研修 令和元年10月2日(水)
「子どもの個性を大切にするための保育者の関わり」
講師 井桁容子氏(非営利団体コドモノミカタ代表理事)
受講者 正規職員全員・パート保育者9名
榎島ひいらぎこども園 保育教諭3名

- ⑥ 研究保育 令和2年1月22日(水)
「子ども主体の保育の環境と
指導者の関わり」
公開クラス 全クラス
保育者 全保育者
指導助言 木下光二氏
(鳴門教育大学大学院
教育研究科教授)



- (2) 派遣研修 (資料 ひ2)
令和元年度キャリアアップ研修修了者数 16名

10 安全衛生委員会

議長	園長	中田純子
産業医(4月～10月)	医療法人ますぎクリニック理事長・医学博士	馬杉治郎
産業医(12月～3月)	一般社団法人ストレスフリー未来研究所 理事・産業医	岡本洋平
衛生管理者	看護師	馬場崎美代
委員	副園長	岩岡昌子

- (1) 委員会 月1回委員会開催・面談希望者はなし

- (2) ストレスチェックを実施

- ① 実施日 令和元年7月22日(月)～29日(月)
- ② 委託業社 NPO法人メンタルサポート京都
- ③ 受診者 67名(未提出2名)
- ④ 結果

総合健康リスクは91で、全国平均に比べて9%低い状況であった。内容的には、「仕事の量的負担とコントロール」の評価は106、「職場の支援」86であった(全国平均を100とした値)。総合健康リスクでは、昨年より5ポイント増加している。

職場区分の「調理員」では、昨年度に比べ36ポイント総合健康リスクが減り、全国平均と比べても2ポイント低い状況となった。一方「パート保育士」は昨年度比30ポイント総合健康リスクが増加し、全国平均より19ポイント高い状況で

あった。

正規保育教諭のストレスの原因として考えられる最も高いものが「自覚的な身体的負担度」で、ほぼ全員が「体を動かし続けるストレスがたまる」と感じている状況であった。2番目が「心理的な仕事の負担(質・量)」で、全体の約80%が「仕事のことで頭がいっぱいだ。難しい仕事で、いつも気になってストレスがたまる。」などを感じている状況であった。

「上司からのサポート」「同僚からのサポート」についてのストレスはなかった。

高ストレスと判定されたのは5名で、内1名が産業医の面談を受けた。

また、カウンセラーによるカウンセリングを、令和元年10月7日～31日の期間に新規採用者・若手指導で苦戦したベテラン・家庭的保育担当パート保育士、計15名に実施した。

⑤ メンタルサポート京都からの職場改善についての提案

保育職場の特徴である「自覚的な身体的負担度」のストレスをほとんどの職員が強く感じているので、日常的な休憩・休息などの確保、休暇取得などで、身体的な疲労の回復に留意する。

「心理的な仕事の負担」についてもストレスが高いため、人員配置・業務連携改善やスキルアップ研修機会の拡大が必要と思われる。

調理員とパート職員は、「職場環境によるストレス(働きにくい作業の環境あるなど)」が上位であるので、職場環境について職場議論を行ってみる。

カウンセリングの結果から、新規採用者や若手には、実行しやすい目標を細かく設定し段階に応じた指導が必要である。指導的立場の保育教諭は、若い人の考え方や感覚の違いなど世代間ギャップに戸惑っており、3日間の新人研修では不足だと感じている。また、家庭的保育施設には、正規職員などリーダー的な存在が必要で、本園との連絡を密にして一体感を醸成することが大切である。今後も、定期的な面談の継続を行うとよい。

⑥改善計画

- これまで、1日の勤務時間を7.5時間としていたものを8時間(8:30～17:30)とし、17:00に合同保育になった後の仕事の分担や段取りを明確にして、残業を減らし、定時に園を出る。
- 土曜日出勤した場合は、振替休日を取り、完全週休2日制とする。
- 有休をとりやすくするよう、できる限り幼児組も複数担任とする。
- 家庭的保育には、正規職員を配置する。
- 令和3年度より、3月の一カ月間、新規採用者をアルバイトとして雇用し、研修を行う。

11 保健室利用実績・感染症による欠席状況

(1) 病気早退延べ人数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳児	7	7	10	5	5	13	11	12	9	3	16	8	107
幼児	20	4	6	8	11	20	15	5	13	10	2	2	116
合計	27	11	16	14	16	33	26	17	22	13	18	10	223

(2) 感染症による欠席状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ									2	7	12	3	24
手足口病		30	6	3	2	2	4		19				66
溶連菌				1	2	1	4	5		2	3	1	19
アデノウイルス		2	1	1	9	14	9	1	3	3	1		44
細菌性腸炎	1												1
マイコプラズマ						1							1
RSウイルス	1						8					2	11
ヘルパンギーナ		2			2	4	1						9
突発性発疹	2	2	1	1		1	2	1	1		2		13
水痘				3	10	17	2			1			33
流行性耳下腺炎		1											1
リンゴ病	1	2				2		1					6
麻疹													0
クループ症候群	1												1
流行性嘔吐下痢症	5	5		2						1	1		14
合計	11	44	8	11	25	42	30	8	25	14	19	6	243

(3) 大きなけが (骨折)

- ① 11月21日(木) 14:30 5歳女児 (あおぞらひろば)
ラグビーをしていて、右足をひねって、右足首をはく離骨折した。
1か月で完治
- ② 3月3日(火) 16:30 3歳男児 (あおぞらひろば)
うんていから落ちて、着地の時に左肘を打ち、ひびがはいった。
10日間で完治

12 課外教室参加者数

- (1) ピアノ・リトミック教室【1クラス30分・4クラス】(講師 伊藤嘉代氏)
月曜日 5歳児 6名 ・ 4歳児 2名 ・ 計8名
金曜日 5歳児 5名 ・ 4歳児 3名 ・ 計8名
- (2) ECC【1クラス40分・3クラス】(講師 上田靖子氏)
火曜日 5歳児 17名 ・ 4歳児 7名 ・ 計19名
- (3) かきかた教室【1クラス 40分】(講師 川田道子氏)
水曜日 5歳児 15名 ・ 4歳児 4名 ・ 計19名
- (4) ジョニーのサッカー教室【1クラス 60分】(講師 松下洋亮氏)
木曜日 5歳児 13名 ・ 4歳児 11名 ・ 計24名
- (5) 剛柔流空手教室【1クラス 60分】(講師 加藤吉辰氏・加藤映彦氏)
土曜日 5歳児 2名 ・ 4歳児 1名 ・ 計 3名

13 絵画作品の発表

- (1) 第79回 全国教育美術展 特選1 入選6 佳作2
(2) 第49回 京都新聞社「お話を絵にする」コンクール 佳作1
(3) 第42回 京都こども美術展 京都府教育長賞1 入選6
(4) ギャラリートレイン(近江鉄道) 展示6



京都こども美術展京都府教育長賞

全国教育美術展特選

「お話を絵にする」コンクール佳作

14 実習生・インターンシップ・体験学習・子育て支援員研修の受け入れ

(1) 職場・福祉体験学習

5月30日～31日	西宇治中学2年生	女子3名・計3名
6月12日・13日	宇治中学3年生	男子4名・計4名
11月7日・8日	広野中学2年生	女子2名・計2名
11月7日・8日	木幡中学2年生	女子3名・計3名

(2) 高校生インターンシップ

7月9日～8月2日(5日間) 女子1名・計1名

(3) 保育実習

6月3日～14日・7月22日～8月2日(22日間)	大阪こども専門学校	男子1名
8月6日～23日・9月3日～14日(20日間)	文教短期大学	女子3名

8月19日～29日（10日間）	京都女子大学 女子1名
8月19日～31日（12日間）	神戸常盤大学 女子2名
8月19日～31日（10日間）	西山短期大学 女子1名
9月2日～17日（12日間）	大谷大学短期大学 女子1名
11月5日～15日（10日間）	大阪国際大学短期大学 男子1名
11月5日～22日（10日間）	奈良学園大学 女子1名
2月25日～3月6日（10日間）	京都ノートルダム女子大学 女子1名

(4) 子育て支援員研修

地域保育コース「地域型保育」

12月3日～17日の間の各2日間 女子9名

地域保育コース「一時保育事業」

1月29日 女子1名

15 ほっこりくらぶとの交流

(1) 4月26日（金）春まつり招待（於：ひいらぎこども園）

利用者5名・ボランティア10名 計15名

(2) 5月20日（月）ほっこりくらぶ訪問（於：開地域福祉センター）

(3) 9月13日（金）運動会（於：鴻巣運動公園体育館）

ボランティア4名

(4) 11月11日（月）ほっこりくらぶ訪問（於：開地域福祉センター）

(5) 12月25日（火）クリスマス会招待（於：ひいらぎこども園）

利用者7名 ボランティア14名 計21名

(6) 2月19日（水）プレひな祭り発表会招待

（3歳児・5歳児）（於：ひいらぎこども園）

利用者8名 ボランティア18名 計26名



16 保護者アンケート（資料ひ3）

17 社会貢献

(1) 地域への駐車場貸出 (夏休み・冬休み・土曜・日曜)

(2) 地域高齢者と幼児のふれあい活動

① 「うたごえサロン」

日 時 9月19日(木) 13時30分～14時30分

講 師 山崎絹子(ピアノ講師)

場 所 ひいらぎこども園 ひいらぎホール

内 容 歌・リズム遊び・子どもたちとの触れ合い
遊び・ダンス

参加者 11名



② 「ふれあいあそび・ふれあい給食」

日 時 11月21日(木) 11時30分～13時00分

場 所 ひいらぎこども園 ランチルーム

内 容 ふれあいあそび・折り紙・ふれあい給食

参加者 9名



③ 水引工作・ふれあい遊び

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



♡参加者の感想♡

- ・子どもたちの明るさに元気をもらえました。
- ・子どもと触れ合うことがとても楽しいです。また寄せてもらいたいです。
- ・ごはんも野菜も柔らかくて、とても食べやすく、おいしかったです。

18 苦情受付の状況

(1) 令和元年6月17日(月) 9:30 (意見箱) 幼児組保護者より(匿名)

【内容】 お迎えが、車が混雑する時間と重なるため、車を早く出そうとすると、玄関の活動写真をゆっくりと見ることができないので、ホールの前にも同じ写真を貼ってほしい。そうすれば、子どもが帰る支度をしている間に見ることができるので検討してほしい。

【対応】 ホールに向かう通路の壁に写真を貼るようにした。

(2) 令和元年7月16日(月) 9:00 鐘紡石塚町内会会長 杉本様来園

【内容】 町内役員会の話し合いの中で、園の保護者の送迎児の車の状況について以下の件について要望がある。

1. 駐車場へ駐車待ちの車が多方面から集中し、渋滞をひきおこしており、地域住民の出勤、通学に支障をきたしている。
2. 児童公園付近を西向きに進む車両でかなりのスピードで左折する車がある。公園横がごみ集積場となっており、集積場にごみを持っていく時に怖い思いをしたという声がある。

【対応】 保護者に対して、メール、手紙を配布し、玄関には、町内会からのお願いの手紙を貼りだした。

園の対応として

1. 17時30分～18時まで、絵本の貸出を中止する。
2. ホールのマイクを使用し、幼児組には玄関の段階でお迎えを知らせる。
3. 車が混雑してくる17時30分頃から玄関に職員が立ち、素早く車を出してもらうように呼び掛ける。
4. スピードを落として運転することを再度よびかかす。

以上の対応を手紙に書き、町内会に渡した。

(3) 令和元年7月29日(月) 21:13 年中女児保護者より入電

【内容】 「園のブログに載っているプールの写真に、パンツが透けておしりが見えている姿が出ているのですぐに消してほしい。」という電話が入る。(当人は、当日、水着忘れであったため、パンツとTシャツでプールに入っていた。写真の中心になっている子どもの後方にその姿が映っていた。)

【対応】 すぐにブログの写真を消し、謝罪する。「保護者はスマホの中で写真を拡大して見るので、しっかり点検してからアップしてほしい。」という要望を受け、ブログに使う写真は一度拡大して確認してから公開することを約束した。その後、「水着を忘れた子ども用に使ってほしい。」と、家庭で不要になった水着を寄付してくださった。

(4) 令和元年12月23日(月) 18:30 0歳男児保護者より入電

【内容】 「顔の傷がひどいが、病院にいかななくても大丈夫か?このような場合は、お迎えに行くのですぐに電話してほしい。」という電話が入った。

その日、午前中お寺の芝生で遊んでいて、ころんで顔に目だった擦り傷ができた。看護師の処置後、様子を見ていたが、夕方頃より傷の赤みが増していた。お迎えの祖母に謝罪し、父母に伝えて頂くようお願いした。

その後、母親も体調が悪く、母子共に医療機関で見ってもらうこととなった。

【対応】 夜、園長が父親に電話をかけ、謝罪と共に、様子を聞くと、子どもは擦り傷なので大丈夫だということであった。

小さなことでも特に第1子の0歳児の保護者はとても心配されるので、医療機関に行く必要のない程度のけがであっても、顔など目立つところのけがの場合は、すぐに、母親への連絡が必要である。

19 施設整備・備品購入

(1) 北館LED交換

施行日 令和元年5月25日

施行業者 (株)伊藤電機

事業費 960,000円



(2) 調理室エアコン設置

施行日 令和元年 6 月 30 日
施行業者 (株) 下岡建設
事業費 1,080,000 円

このホースを動かすことによ
って、涼しくしたいところに
風が届く



(3) パソコン入れ替え 20 台 (1 年保証) ・ iPad 1 台 (アップルケア付)
(使用中の PC20 台は平成 13 年度版のため、ウィンドウズ 7 にしか対応できず、
ウィンドウズ 7 が廃止になるために買い替えを行った)

施行日 令和元年 8 月 6 日
施工業者 (株) サンワード
事業費 4,151,736 円



(4) どんこひろば用電気時計設置

(京都府支援体制整備事業補助金対応・幼児教育の向上のための緊急環境整備 76,000 円))

施行日 令和元年 12 月 12 日
施行業者 (株) 下岡建設
事業費 320,100 円
(電気時計 215,600 円 ・ 設置工事 104,500 円)



BEFFOR



AFTER



(5) 本館外階段増設

(保育等子育て環境充実事業補助金対応 1,000,000円)

施行日 令和2年3月1日～31日

施行業者 (株)下岡建設

事業費 2,000,000円



(階段設置により、災害時の避難に係る時間が短縮された上に、日々の活動においても、子どもの活動時間を保障しやすくなった)

(6) 見守りカメラ設置 (各保育室及びおひさまひろば・計16台)

施行日 令和2年3月20日(日)

施行業者 アイディーネット株式会社

事業費 2,199,120円(リース払い月々26,180円×84回)(税込み)



天井付けカメラ



ディスプレイ

(子どもにハプニングが起こった際、実際の映像で確認ができるようになったため、状況を正しく知ることができ、保護者に正しい情報を伝えることができる上に、原因を究明し再発防止に役立てることができる)